

1.はじめに

最近、生徒が次の授業の予定を聞きにくるようになった。明らかに彼らは視聴覚室での授業を期待している。

生徒はコンピューターが好きだ。以前、PC - 8801 という 8 ビット機を使っていた頃、コンピューターでの授業だということ、生徒たちは楽しそうに授業を受けていた。いちど英語を不得意としている生徒 40 名ほどを集め、毎週木曜日に英語の補習を行ったことがある。そのときは 1 台のコンピューターを 2 人で使用し、半数以上の生徒が基礎的な力を見につけることができた。そしてそれ以上に印象的だったのは、彼らが非常に楽しく学習していたことである。

その頃と比べると、コンピューターは著しく進歩している。当時 BASIC でプログラムを作成していて、「こんなことができたらいいのに」と思っていたことが、今ではほとんどが可能となった。それは「ここで音を出したい。」「生徒の解答を文字で確認した後、その文の発音を聞かせたい。」といった、オーディオ・ビジュアル面で使用したいという思いだった。

昨年度末、本校にコンピューター 5 台が導入された。4 月に WINDOWS というものに触ったが、当時と比べるとさっぱり様子が違う。以前の OS とはすっかり変わっていた。まずはコンピューターの構造を知ろうと考え、コンピューターを組み立てることから始めた。その時からすでにコンピューターをワープロや表計算ソフトに使う考えは少しもなかった。目的は、それをインターネットとマルチメディアで使用する事だった。

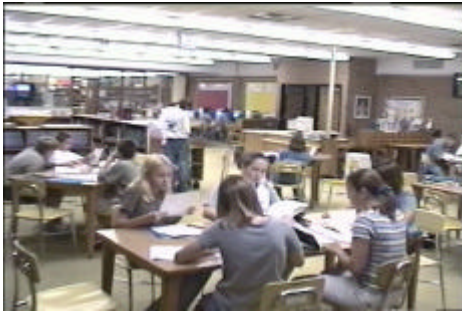
この 6 ヶ月間とにかくコンピューターに関わってきた。今やっとスタートラインに立てたような気がする。そんな状態で発表するのは時期尚早だが、中間報告として今日までの軌跡を発表していこうと思う。

2 . 本校のコンピュータシステム

以前から本校には、制作製図室にコンピューターが設置されていたが、今回はそれを取り上げることはしない。理由はそれらのコンピュータではインターネットを使用できず、またサウンドボードがついていないため音も出ないからである。したがって、ここで取り上げるのは昨年度末に導入された 5 台のコンピューターである。

Pentium 133MHz、RAM 48MB、HDD 1.1GB のコンピューターで 4 台が視聴覚室に設置され、1 台が制作製図室に設置されている。これらはルーターとハブを使用し簡易 LAN で接続されている。5 台ともインターネットの使用が可能である。NTT の電話回線を使用して松阪市のサーバーに接続されている。その他の周辺機器としては、デジタルカメラ 2 台、スキャナー 1 台、プリンター 1 台である。

3. 報教育と英語教育



この写真は姉妹校のアーントミドルスクールのメディアセンターでの体育の授業風景である。テーマは「心と身体とのバランス」で、各生徒が図書で調べたり、インターネットで調べたりしたことをレポートにまとめている。

アーントミドルスクールでは、すべての教室にコンピューターが設置

され、それぞれの教科でインターネットが活用されている。

コンピューターがまさに“WINDOW”となって、世界中の豊富な情報を手に入れ、それを資料とし、学習することができる。

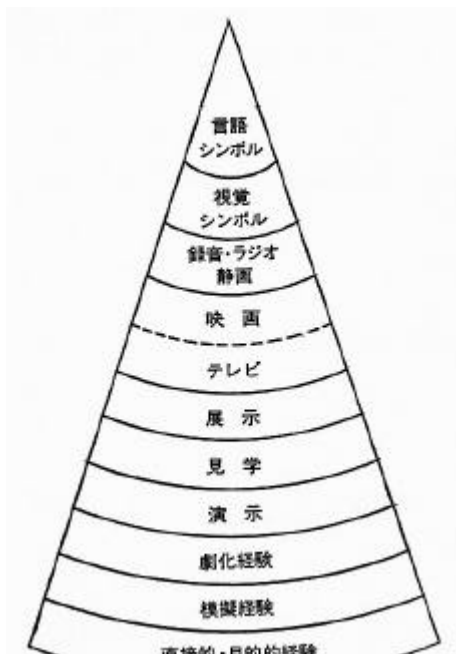
今日の日本の技術を持ってすれば、そのような機械的なシステムは容易に作る事ができるが、情報

のほとんどが英語で書かれているために、私たち日本人にとって、容易に情報を得ることができない。そこで、ますます世界の言語としての英語を習得することが必要となる。

インターネットは普及してまだ日が浅いが、そこには非常に多くの情報があり、コンピューターが1台あれば、そこから世界中にアクセスすることができる。そのとき、英語を使用できると、グローバルな情報収集ができるが、使用できないと限られた情報しか得られない。土地を確保し、工場を建て、労働者を雇い、物を作り、輸送する産業は、近い将来にはGNPの15%にしか及ばず、知識産業・情報産業が85%になるといわれている。そんな時代が訪れるとすれば、知識・情報を得るための言語の果たす役割は今以上に大きくなるのだと思う。そう考えると10年後、20年後を見据えた場合、世界の言語としての英語を習得しているのとしていないのでは、「情報格差」が生じるのではないか。



4.視聴覚機器としてのコンピューター



視聴覚的諸方法の有効性を、デール (E. Dale) は下のような図で示している。

これは「経験の円錐」と呼ばれていて、下に行くほど現実に近く、視聴覚教育としては有効だということを示している。

この十数年間、私も英語科の教師は、この現実に近づけるために視聴覚器材を開発し、ロールプレイングで模擬経験ができるように指導案を工夫し、ALT とのチームティーチングを研究してきた。

それでもなを、「直接的・目的的经验」にたどり着

くことは容易ではなかった。まだまだ、「模擬経験」を超えるものに至っていないように思える。

次に、ALT、Ms. Lyndall Kennedy の意見を見てみよう。

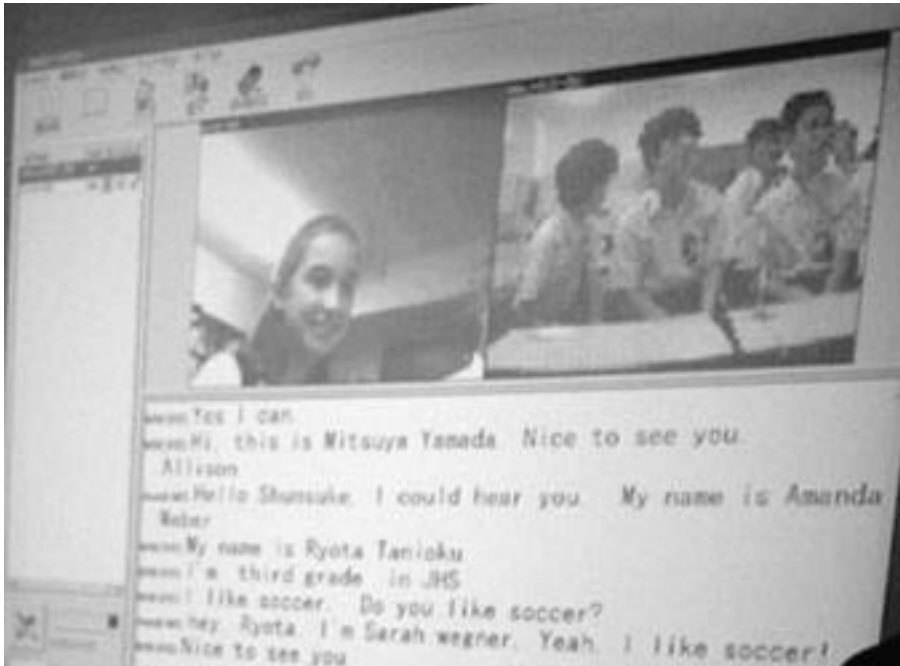
Hello everyone in Arndtt. My name is Lyndall Kennedy and I am an assistant English teacher in Matsusaka City. I visit all the Junior High Schools in Matsusaka including Nishi Junior High School. I am from Australia and I have been in Japan for over a year now. One of my jobs is to encourage Japanese students to speak English which is why I think it's great that the students at Nishi have the opportunity to "talk" to you guys via internet. One of the most important things for the students here is to try and make English real for them and get them to use the English that they have learnt on real human beings..... that's you. So I think it's fantastic that they have sent you all those weird and wonderful recipes for Japanese food.

これは、JAPANESE COOKING に対して、アートの生徒から送られてきたメールに答えたものの一部である。ここで、彼女は「ここでの生徒にとって、英語を現実的なものにするのがもっとも必要なもののひとつである。そして、学習した英語を本物の人間（つまりあなたがたなのですが）に対して使用していくことが必要です。」と、言っている。また、彼女は、そのことがインターネットを通じた交流で可能となることでうれしいと語っている。

インターネットを導入してから日が浅く、成果を述べるにはまだまだ時機尚早ではあるが、視聴覚機器としてのコンピューターを考えると、これまでのいかなる機器よりも「経験の円錐」のより底のところ近づけることができる可能性があるのではないか。また、英語をより現実なものにしていく可能性があるのではないかと思う。

CU-seeme を利用した自己紹介

松阪市立西中学校
小濱照重



1998年9月5日午前7:00 松阪市立西中学校にて、本校の制作部の生徒（部員数 51 名）と姉妹校であるノースキャロライナ州アーカイバ郡ヒッコリー市立アークトミドルスクールの Teenage Walkers Project (TWP) のメンバーとが、CU - seeMe にて交流を持った。

1. システムとアプリケーション

今回使用する CU-SeeMe は、インターネットのネットワークシステムを利用したテレビ会議ソフトで世界中で、最も多く使われているソフトのひとつである。このソフトをパソコンにインストールし、CCD カメラなどを装着するだけで簡単に安価にテレビ会議が行える。ネットワークの制約はあるもののインターネットを利用するため、どこと通信してもプロバイダ等までの接続費用しかかからず、通信費用も安価である。ただ、現状では松阪西中が接続されているネットワークからは使用できないため、今回は三重県庁のネットワークに接続し、交流をおこなった。

2. 相手校との打ち合わせ

今回の趣旨を説明し、理解してもらった。

- ・ 今回は、あくまでもお互いに知り合うことが目的であること。
- ・ 日本サイドの生徒がこの会話に参加することによって、英語に興味関心を持つようになること。または、この会話を通して英語で会話ができるという自信が持てるこ

と。

<相手校の担当者からの e-mail >

We certainly want to build their confidence in speaking English.
After testing their English, if you would like to revert to
Japanese that would be fine. Maybe, as we discussed, you can
translate for us and Tetsuji will translate for your students.

Do you think this is a successful solution?

Your Friend and Colleague,

以下のような返事がきました。

- ・ 西中学校の生徒が自信を持てるように考慮すること。
- ・ 私とアメリカにいる浅川さんが通訳するケースもあるということ。

3. 生徒への事前学習

- ・ ヒッコリー市の様子のビデオでの視聴
- ・ アートミドルスクールと生徒のスクールライフのビデオでの視聴
- ・ 英語での自己紹介の練習

4. 自己紹介の本番

はじめての試みであるためか緊張した生徒も見られたが、インターネットを通じて相手校との交流ができてほとんどの生徒が楽しむことができた。自己紹介においては、すらすらとできる生徒もいれば、簡単な会話にもコンピューターの操作に戸惑い、思うようにはできなかった生徒もいた。

5. 生徒の感想

- ・ アメリカの人とパソコンで話せるのはとても不思議度やる時はもっと簡単に話せるようにしたい。
- ・ アメリカ人とインターネットを通じて話ができたらよかった。
- ・ 少ししか時間がなかったけど、まあまあ楽しかった。緊張してわけわからなくなって、こんらんして……。でも次が楽しみです。



議に思った。今
ことが、心にじ
たです。でもや

- ・はじめはうまくできるかと不安だったけど、やってみたら結構楽しかった。
- ・やってみてすごくよかったと思う。ただすごく短い時間しかできなくて残念です。次にやる時はもっと長くやりたいと思う。次がすごく楽しみです。
- ・英語をしゃべるときすごく緊張した。だけど思っていたより楽しくてよかった。画面が白黒で残念だった。
- ・インターネットで、私の名前は山本健一ですただけど、この言葉がアメリカまで行ったことだけでも嬉しかったです。もっともっと今度はなしたいです。
- ・私は、インターネットをやれなかったけど、少し楽しかった。でもやれたらすごく楽しかったと思う。そのためにはもっと英語をがんばる。今回は残念でした。次回はがんばる。
- ・私はできなかった。みんな楽しそうにしていた。朝早く出てきてすごくえらかった。はじめてインターネットをした。でも今度やってみたい。

6.相手校の感想



<生徒が出ていってからの後の関係者の会話より>

Arndt MS: Our students had a great time. They want to do this more often!!

MWJHS: How are the students there?

Arndt MS: The teachers and students satisfied well.

7.成果と課題

今回の活動を通して西中の生徒とアークミドルスクールの生徒の交流を始めることがより具体的になった。

お互いにインターネットを通じて交流することができると知り、臨場感あふれる雰囲気を味わうことができた。

アメリカサイドが非常に興味関心を持った。特に、教師が関心を持ったらしく、メールの交換が多くなった。

CU-seeme の扱いが難しいのと、時差の関係があり、生徒が早朝に登校しなければならなくて大変だった。

アメリカサイドが金曜日の午後 6 : 00 ということもあり、電話線が混雑したため、テストしたときより画質が落ち、レスポンスの時間が多くかかった。そのために、せっかく早く登校してきたにもかかわらず、会話できなかった生徒もいた。

ホームページ作成

1. 目的

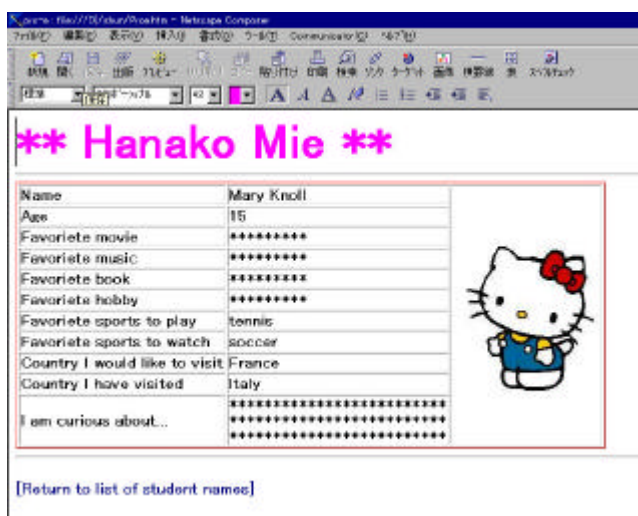
- 1) 国際交流を行うためのホームページ作成する
- 2) 日本の文化とアメリカ合衆国の文化について知る
- 3) 友達を作る
- 4) コミュニケーションのための英語を習得する

2. ホームページ作成

1) ホームページを作成するにあたって

- ・ Teenage Walkers Project 活動プログラム
- ・ ファイル管理
- ・ Netscape Communicator の操作方法
- ・ 自己紹介プログラム
- ・ デジタルカメラの操作方法
- ・ Adobe ImageReady の操作方

2) 個人紹介カード作成にあたって



- ・ 日本語版の個人紹介カードを作成する
- ・ 英語版の個人紹介カードを作成する
- ・ デジタルカメラで写真をとる
- ・ イメージレディーで写真を加工する

- ・ 加工した写真をコンポー

ザーに貼りつける

3. 生徒の感想

・今まで、制作部で活動した感想は、思っていたより、楽しいクラブだということです。まだ、ちゃんとした活動は、数回しかやってないけど、インターネットについての説明を聞いたり、自分の、紹介のカードを作っていると、これからの活動が楽しみになってきました。僕は3年生なので、あと少ししかクラブ活動ができないけど、残りの日を精一杯がんばっていこうと思います。

・ぼくは、初めはインターネットのことをとても難しいことなのかなと思っていました。でも、実際にやってみるとそれほど難しいこともなく、とても楽しくやれたと思います。これからもインターネットなどを通して外国の人々と交流していきたいと思います。

・インターネットをして他の国の人と仲良くなれるような気がした。開いて何か入っていたらいいなと思った。インターネットは人と人とのな仲を結ぶ役目だと思った。

・4月にクラブに入部して、1から今までこなしてきたけど、授業とはまたちがったいろいろな事を学ぶことができとてもよかった。ホームページも、もう少しで公開になることだし今後ますますクラブの活動は活発化していくと思うので、僕も今までならったことを活用して発展させていきたい。

・今までやってきて分からないことが多く、みんなに教えてもらってばかりだけど楽しくできた、これから本格的にインターネットしていくので今まで以上にがんばりたい。

・ぼくは、インターネットは面白いなと思います。なぜそう思うかというと世界中の人々と交流が出来るからです。交流をすれば友達がたくさんできるし、互いの生活などが解かるからです。交流をして本当に良かったなと思うようになります。

・インターネットなんて全然やったことがなかったので、とても緊張しました。特に、パソコンはこわれてしまいやすいので、「僕がこわしてしまわないかな」と心配しました。でも、この一学期、個人カードを作ったり、いろんなことをして、とても楽しかったです。うまくいかない事が多くて、冷汗をかきましたが、ちゃんとできてよかったです。2学期からは、もっと本格的なことになってくると思いますが、頑張りたいとおもいます。

4. 成果と課題

いろいろと学習できて楽しかったという生徒が非常に多かった。また、その学習を通して、コンピューターの扱い方を習得することができた。ほとんどの生徒が自己紹介カードを作成するにあたって、外国と交流するという意識が高まった。

英語に訳す場面では、かなりの生徒がてこずった。しかし、辞書を片手に一生懸命取り組むことができた。英語を苦手としている生徒も多くいて、お互いに協力したり、英語が得意な生徒の助けを借りて自己紹介の英語版を作成した。

生徒の英語の誤りは、あえて修正しなかった。お互いの交流の中で気づき、修正していく方法をとった。

この自己紹介カードを作成し始めたころより、各生徒の英語の授業に取り組む姿勢に変化が現れ、より目的意識を持って、積極的に授業に取り組む姿勢が見られるようになった。

コンピューターの台数の制限で、全員がいっしょにコンピューターの学習をすることができなかった。10名程度の生徒が代表として学習し、その後他の生徒に教える方法をとったが、うまく他の生徒に指導することができなかった。

お互いの学校の夏休みの関係で、この自己紹介カードに基づく交流はまだ行われていない。現在、学校紹介を作成している最中で、それと平行して掲示板による交流を今週から行う予定である。

INTRODUCTORY MENU を利用した授業

1. 目的

- 1) 自己紹介に必要な語句を理解する。
- 2) それぞれの生徒の特徴を瞬時に理解する。
- 3) インターネットによるコミュニケーションの楽しさを知る。

2. 指導の流れ

- 1) 生徒の自己紹介カードを見てメモを取る。
- 2) クラスで発表する



3. 生徒の感想

- ・コンピューターをとおして、同じくらいのアメリカ人を見れた。見れたこともそうだ

けどインターネットがこんなに簡単なんて感動した。

- ・楽しかった。ほとんどの生徒が“12歳”だったことがびっくりした。またやりたいな。
- ・私が見た人は、12歳なのに、趣味がゴルフとかで、やっぱりアメリカの人達はちょっと違うかなと思った。
- ・よく分からない名前とかがあった。二人しか見てないけど、よく似たものが好きなんだと思った。
- ・少しコンピューターをいじるだけで、外国の人の姿が見れて、まるで会話のようにその人のプロフィールを知ることができる。難しい単語もすくなくてよかった。これからもこんなのをしてみたい。
- ・インターネットで知らない人との交流ができ、とてもよかった。特徴がよく解るのでおもしろかった。勉強ができてよかった。
- ・とってとてもおもしろかった。会話ができたらしいのにな。楽しみながら、英語の勉強ができた。

4. 成果と課題

相手の事を知りたいという気持ちが強く、各生徒が自己紹介カードに書かれた英語を理解しようとする積極的な姿勢が見られた。

subject, math, social science などの単語を忘れていた生徒が多かったが、しかし今回でかなりそれらの単語を復習することができた。また、ほとんどの生徒がアークミドルスクールの生徒の自己紹介カードに書かれている内容を理解することができた。ただ、名前を読むことは難しかったようだ。

3年2組(38名)に対して、使用できるコンピューターが3台しかなく、生徒一人一人が十分に自己紹介カードを見ることができなかった。もう少しコンピューターの台数が必要である。

それでも、生徒は生き生きととても楽しく学習に取り組むことができた。各生徒の中に、「いろいろと話せる海外の友達をもちたい。」という気持ちを強く感じた。今後は、生徒がメールを送ってコミュニケーションをもつことを希望しているので、交流相手を見つけていく必要がある。

e-mail を利用した授業

1 . 目的

- 1) 身近な人を通して海外の文化を理解する
- 2) ヒアリングの力をつける
- 3) 書く力をつける
- 4) 読む力をつける

2 . 指導の流れ

1) ビデオを鑑賞する

ビデオの内容

- ・ 昨年帰国した ALT、Ms. Heather Jo からの生徒へのメッセージ
- ・ Ms. Hether Jo の典型的な南部アメリカの朝食の紹介
- ・ Sant Antonio でのメキシコ人の踊り
- ・ Sant Antonio の風景

2) E-mail を作成する

< 生徒が作成したメール >

Hello!! Heather and Miller!

How's going? I'm fine.

I watched your video. That's interesting.

You look very happy!

From Tomomi Irago

Hi! Jo and Miller.

I watched your video.

I would like to go to America.

Be happy. See you again.

From Nakagawa

Dear Heather Jo,

I watched your video. It was great.

When you had breakfast, you looked very happy.

Thank you. Good-bye.

From Take and Harada

Dear Jo and Miller,
Very good!
You look very happy!
We'd like to see your baby soon!!!

From Sanae Tanaka

Dear Jo,
How's going? I'm fine.
Do you remember us? We watched your video.
Your breakfast is great!
I want to have "American breakfast," too.
I hope you could come back soon.
Bye-Bye.

Sincerly,
Kumi Mizumoto

Dear Jo and Miller,
What's up?
I hope you love each other forever.

From Mie Koizumi

Hello!! Jo.
I haven't seen you for a long time.
I watched you on the video.
You look young.
Your darlin looks like young, too.
I want to visit your city someday.
See you.

From Tadahiro Koizumi

Hello, Jo.
We have never seen such a beautiful river.
We want to meet you again.

From Chinatsu OOkawa
Sanae Kawamura

Aiko Nishimura
Sayoko Okuchi

I haven't seen you for a long time.
I'm Shuji.
Your breakfast looks delicious.
I'd like to eat it.
I want to see you again.
Good-bye.

From Shuji Ishii

What's up?
Please teach me how to make cookies.
I want to eat.
See you.

From Rui

Dear Jo & Miller,
Hello, Jo!
How's going?
I have seen you on video.
You look happy now.
We envy!
See you.

From Hitomi & Mai & Rie & Sumire

3 . Jo 先生からの返事

I'm glad the students seemed to enjoy the video you made in Texas. I just loved reading their notes! They were so sweet! Thank you soooooo much for e-mailing them to us. I read the notes to my family and other people I know. They were charmed.

4 . 成果と課題

生徒は、ビデオの内容を聞き取ることができ、それを見た気持ちをそのまま表現することができた。

また、親しい相手にメールを送る場合の表現方法を学習することができた。
例えば、下記の表現方法など。

What's up? How's going?

Be happy. See you.

今回は、生徒はノートに書くにとどまり、教師がメールを作成したが、生徒自らコンピューターにメールを書き込むことができれば、より交流している実感が湧いたと思う。コンピューターの台数が非常に少ないといった問題があるが、今後は生徒がメールを作成できるようにしていきたい。

J A P A N E S E C O O K I N G

3年生の生徒がホームページに日本料理のレシピを載せ、日本の食べ物を紹介し、お互いの食べ物について交流を持つことを試みた。

1 . 指導の目的

- 1) 英語で表現する力を身につける
- 2) 日本の文化を知る
- 3) アメリカの文化を知る
- 4) インターネットで交流する

2 . 指導の流れ


- 1) 夏休み中に日本料理のレシピを作る
- 2) インターネット上で交流する

3 . 生徒の作品

それぞれの生徒が、日本料理を知ってもらおうとして日本料理のレシピを作成した。


Recipe for tempura
 Material: lobster, potato, pumpkin, eggplant, potatoes.

First
 Cut all materials to appropriate size.




Second
 Mix flour, an egg, water and a little salt to make a coating.

Third
 Put materials on a coating and fry.



Fourth
 Finishes being made by dishng.




夏休みの間、何度も図書館にあしを運び作成した作品である。この生徒は、英語をそれほど得意としていない。

Japanese food style


* Gripping sushi was born in the Edo era.
 The present, in generally sushi is gripping sushi.
 Others countries gripping sushi is famous.
 By the way, in present time we eat soon as gripping sushi in made.
 That started at about the end of the Edo era.

Japanese food
Sushi's history



But at that time, fish and meat we put on top of gripping sushi was season by soy sauce and vinegar.

Like present, put fish and meat soy sauce and vinegar started recently.



How long has Japanese sushi's history begin?

At first, rice was not used for sushi.

Fish and meat is pickle with salt in rice.

Pickle for some month in rice.

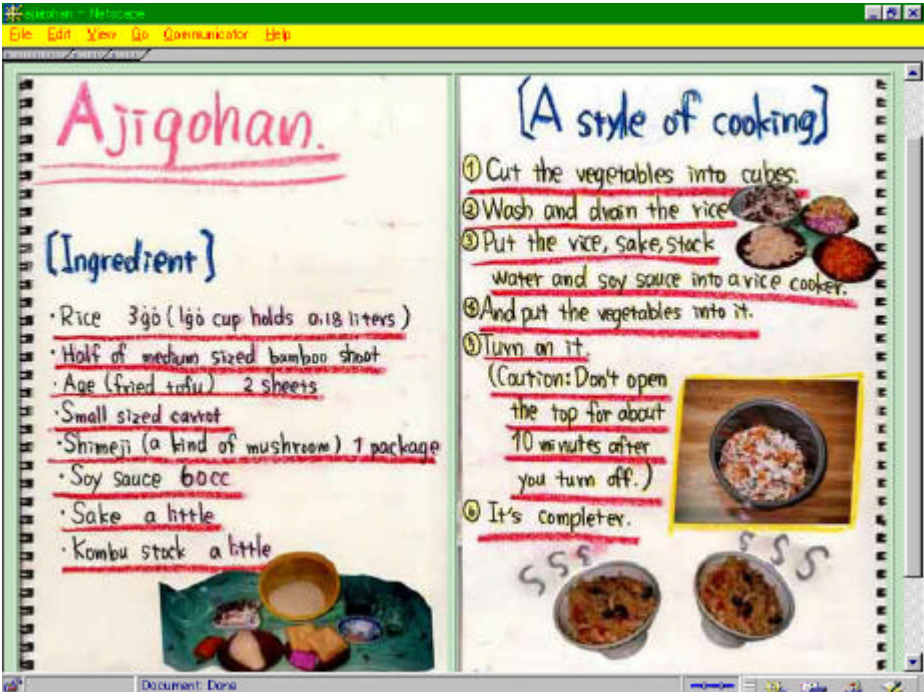
So they were had fish and meat only.

This sushi is called "Narezushi".

Narezushi was big changed in the Muromachi era.

Narezushi was changed "Nama narezushi (raw narezushi)".

クレヨンでうまくまとめたレシピである。「食べてみて、非常においしかった。」という、保護者の感想も付け加えられていた。



Ajigohan.

[Ingredient]

- Rice 3gō (1gō cup holds 0.18 liters)
- Half of medium sized bamboo shoot
- Age (fried tofu) 2 sheets
- Small sized carrot
- Shimeji (a kind of mushroom) 1 package
- Soy sauce 60cc
- Sake a little
- Kombu stock a little

[A style of cooking]

- ① Cut the vegetables into cubes.
- ② Wash and drain the rice.
- ③ Put the rice, sake, stock water and soy sauce into a rice cooker.
- ④ And put the vegetables into it.
- ⑤ Turn on it.
(Caution: Don't open the top for about 10 minutes after you turn off.)
- ⑥ It's complete.

4 . 生徒の感想

< 日本料理作成にあつたての感想 >

- ・僕は、この一事研究を行って、とてもよかったと思います。それは制作部で習ったパソコンの使い方を発展させたりできたからです。日本の料理について研究することによって、少し日本について知ることができたような気がします。
- ・一事研究をやってよかったのは、少し英語の勉強になったことと、日本の料理について学べたことです。一番苦労したのは、英語でレシピを作ることでした。時間がかかり、難しかったけど、いい経験になりました。
- ・思ったより上手にできた。ただ写真がきれいに写ればよかったと思う。図書館に単語を調べに行ったが正しく英文になっているか自信がない。英語で書くと料理も洋風に見え見かけもよかった。
- ・普段作らないので楽しかった。おいしくできてよかった。英語に訳すのは難しかった。言い経験になったと思います。
- ・はじめはちゃんとできるか心配だったけど、思ったよりおいしくできてよかった。わからない単語がたくさんあって大変だったけど楽しくできてよかった。

< ホームページを見ての感想 >

- ・私は、インターネットに自分達の作品が載ってすごくうれしかったです。世界中の人が私たちのみつまめを作ってくれればいいなと思います。
- ・まさか自分のが乗ると思わなかったけど、とってもうれしです。日本の料理を世界の人達に知ってもらって、おいしいと言ってもらえればいいなと思います。それで作った感想とか教えてもらおうとうれしいです。できたら世界各地の料理も教えてもらって作って、世界の人々とコミュニケーションをとりたいと思う。
- ・自分の作品がインターネットにのって、すごく苦労して絵を描いたり調べたりしただけに、とてもうれしい。
おすしの歴史を一つとっても、いろんなことが関連していて、その当時の人々の生活の様子、その生活の中であらわれたさまざまな知恵などがわかって、とても面白く興味がわいた。そのようなおすしや、人々の生活のことも日本の文化として世界の人々にわかってもらえればいいと思う。
- ・自分のが映っていたので少し恥ずかしかった。でも、これを見た人が料理を作ってくれたらうれしい。親子丼のほかにも、ちゃきんしぼりも作ったけど、のっていなかったので残念

だった。

- ・なんか世界の人々に見られると思うと、ちょっと恥ずかしい。自分達が作ったレシピで、世界みんなが日本の料理を作ってくれたらいいなと思う。本当にインターネットは便利だ。自分が作ったのがのるのは、ちょっとはずかしいけど、もっと作ってもっと載せてほしいような気がする。世界みんなも私たちのレシピを見てむこうの国の料理のレシピを書いてきてほしい。

<アートの生徒からのコメント>

Dear students,

I would like to try octopus but I hope it would be cooked before I ate it not like sushi. I have never had any chinese or japanese food.

Derrick Callahan

+++++

Dear Students,

THAT IS NOT VERY POPULAR AROUND HERE SO I DON'T KNOW IF IT
WOULD BE
ANY GOOD. TRIPP ALLISON

Dear Students,

Octopus doesn't sound very appetizing to me. I would like to try it.
I have tried rattle snake before and it tasted like chicken. I love
eating Japnese food. We have a restraurant here named OSAKA. They make
the very best Terryake Chicken.

Holly Krogman

また、アートの生徒からもアメリカ料理のレシピが送られてきた。

QUICK AND EASY APPLE PIE

6 to 7 apples or 6 c.
¾ to 1 c. sugar
3 Tbsp. flour
1 tsp. cinnamon

½ tsp. nutmeg
3 Tbsp. butter
Dash of salt (optional)
2 (9 inch) pie shells

Mix sugar, flour, and spices. Peel and pare apples. Sprinkle some of the sugar mixture on bottom of 1 pie shell. Put sliced apples in pie shell. Sprinkle all but 2 tablespoons of dry mixture over apples. Melt butter and sprinkle over pie, all but ½ teaspoon. Place second pie shell on top of pie; make fork holes. Brush rest of butter on top of pie and sprinkle on the rest of dry mixture. Bake at 400° for 50 minutes or until done.

Judy Pierce

BAKED BEANS

1 lb. ground beef
½ c. minced onions
1 lb. can pork and beans
½ c. ketchup
2 Tbsp. vinegar

2 Tbsp. sugar
½ tsp. salt
Sprinkle of pepper
¼ tsp. Worcestershire sauce

Brown ground beef and onions in pan. Drain well. Add to other ingredients. Bake in uncovered baking dish at 350° for ½ hour.

Lillian Caldwell

BUTTERMILK BISCUITS

2 c. all-purpose flour
3 tsp. baking powder
½ tsp. salt

6 Tbsp. shortening
¾ c. buttermilk

Sift flour, baking powder, baking soda, and salt. Blend in shortening and when thoroughly mixed, add buttermilk. Stir the mixture with a fork, then knead it about 30 seconds and roll it out on a floured surface to a thickness of ¼ to ½ inch. Cut biscuits 2 inches in diameter, place them close together on a baking sheet, and bake 8 to 10 minutes in a 450° oven. Makes at least 30 biscuits.

Kevin Caldwell

CHICKEN DUMPLINGS

1 (3 to 4 lb.) fryer chicken
½ stick margarine
1 can cream of celery soup
2 c. chicken broth

1 c. milk
1 c. self-rising flour
Salt and pepper to taste
Paprika to taste

Cover cut up chicken with water and cook. Take off bones. Cut into small pieces and put in large casserole dish. Boil soup and chicken broth to thicken. Spread over chicken. Sprinkle salt, pepper, and paprika to your taste. Mix 1 cup milk and self-rising flour together. Pour over soup mixture. Bake at 350° until brown, approximately 45 minutes.

Janice Ford

EASY FRUIT COBBLER

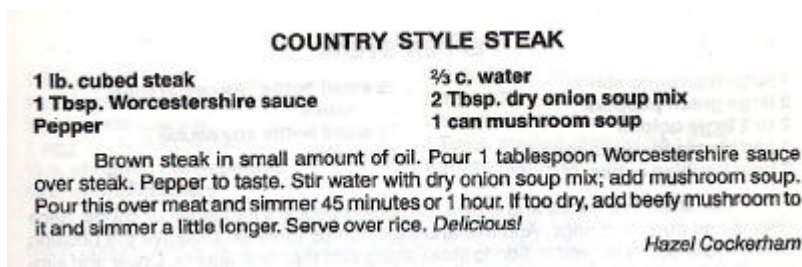
½ stick margarine, melted
½ c. sugar
½ c. flour (self-rising)

½ c. milk
2 c. fruit, sweetened to taste

Put melted margarine in baking dish. Mix next 3 ingredients together and pour over margarine. Heat fruit and pour over dough mixture. Bake at 350° for 30 minutes or till done.

This recipe can be doubled for larger family.

Ella Mae Nichols, Edna Taylor



これらのメールとレシピは、3年生の各教室に掲示された。

<レシピをみて、料理した生徒の感想>

どんなのができるのかすごく楽しみで、早く出来上がって食べたいと思いました。

作った事のない物を作ったりするにはめっちゃ楽しかった。

Ella Mae Nichols と Edona Taylor に紹介してもらった FRUIT COBBLE を作りました。材料の量があまり分からなかったので、適当に作ったら失敗してしまいました。見た目は結構よかったけど、味がいまいちでした。今度はうまくできるようにチャレンジしてみたいと思います。

先生の感想：学校に持ってきて食べさせてもらったのですが、少し硬かったけど、フルーツの味が生地とマッチしていておいしかったです。

5. 相手校との連絡

姉妹校であるアークミドルスクールとは、e-mail で連絡を取り合った。担当者であるブレンドリー先生をはじめとして、非常に好意的であり、国際交流に対して意欲的である。

ここに1例を挙げてみる。

Dear Ms. Brenda Massengill,

How are you? I'm OK.

We got two typhoons in two days.

The typhoon that we got on 21st. wasn't so powerful, but the last one we got on 22nd. was so powerful that my neighborhood lost their quarter of roof. And we couldn't get electricity for five hours. Although I worried my family's safety, all of them were OK.

By the way, I want your students to talk of the difference of food, my students like hamburger, though. Because they did homework to introduce Japanese food to you. They made recipe of Japanese food. I will put them on URL of West JHS soon. Please

watch them and give us your impression. How do you like it?

I will attach some pictures of the recipe here.

See you.

Teru

Dear Teru-

I'm so glad you and your family are doing well. I can imagine how scary a typhoon can be. There are 3 hurricanes that could hit our coastline in the next week or so. We are too far from the coast to be really affected.

We are getting together some recipes to send you. Please give me a couple of days. I'm really excited about this cultural exchange not only for the Teenage Walker's but all of my students. They will all benefit from your information. I may have some of my students try to cook your recipes!! I'm sure they will not taste like they would in Japan! I will send recipes soon.

Thank you Teru!!

Brenda

6. 成果と課題

各生徒が、「世界の人々に日本料理を知ってほしい。」「できればレシピを見て、作って食べてほしい。」「食べた感想を聞きたい。」という思いで、作品を作成した。そういう思いがあったためか、作品が非常に工夫されていて解かり易い。

今まではいろいろなメディアを通して受信するだけだったのが、今回からは、自分たちのレシピを発信できるとあって、かなり意欲的に取り組むことができた。



各生徒は単語を調べたり、表現方法を工夫したりしてかなり英語を学習した。英語を得意とする生徒だけでなく、不得意としている生徒も積極的に英語を学習し、作品を完成していった。

このレシピをホームページに載せた頃より、ほとんど全ての生徒の中に、「英語は現実的に使用されているものであり、それによってコミュニケーションがもてる」という意識が芽生え、

積極的に英語の授業に取り組む姿勢が見られるようになった。

課題としては、教師がホームページ作成の時間確保ができず、レスポンスが遅く、作品をホームページに載せるまでに時間がかかりすぎる。できれば、生徒が作品を提出すると同時にホームページに載せていきたい。

または、生徒自ら自分の作成した作品をホームページに記載できるようにしていきたい。これがおそらくベストだと思う。生徒自ら記載することによって、インターネットで海外と交流している実感をもっと味わうことができる。

それを可能とするためには、英語の授業だけではなく、学校全体で情報教育に取り組むことが必要である。

地域紹介

3年生の生徒が、広く世界に自分達の住んでいる地域を知ってもらおうと身近な地域をホームページに作成し、紹介することを試みた。

1 . 目的

- 1) 英語で表現する力を身につける
- 2) 身近な地域の文化を知る
- 3) インターネットで交流する

2 . 指導の流れ

- 1) 自分たちの住んでいる地域について調べる
- 2) 地域紹介を日本語で作成する
- 3) 英語に翻訳する

3 . 生徒の作品

今回は、それぞれの生徒が前回の“ JAPANESE COOKING ”の経験を活かして、地域紹介の作成にあたっていろいろと工夫をしてきている。特に、ビジュアル関係は非常に工夫の跡が見られる。写真やイラストを入れてよりわかりやすく表現しているが、中でも数名の生徒は、コンピューターを使用して作品を完成させている。

次の作品はその一例であるが、松坂に伝わる民話を写真と分かりやすい英語で表現している。作品の作成にあたって、この生徒たちはその地を訪れ、よく調べてある。



RAIKOU temple's history

A beginning , RAIKOU temple was in MATUGASIMA .
MATUSAKA castle was in MATUGASIMA too .

A load thought that here is very small .

So, castle and RAIKOU temple moved out of MATUGASIMA to MATUSAKA .

By the way, RAIKOU temple has some rare things .

It's HONDOU, URAMON and SINSEIZIHITUSYOUSOKU .

HONDOU was made in 1756 .

It's construction is very interesting .

And there is KADOYA HITIROBEI's grave

He trade with abroad .

But Japan had closed , he could not back to Japan .

SINSEIZIHITUSYOUSOKU is SYODOU art .

URAMON is a gate .

It's made in 1625 .

Like this, RAIKOU temple has some rare goods .

This is the HONDOU .

This is the SYOUMON .

This is the URAMON





STORY OF THE BABY IN GRAVE

This story is handed down in RAIKOU temple .
MATUSAKA was known as a famous town .
One day a SAMURAI went to OUGI shop.
The shop had a very beautiful woman.
She gave him OUGI and wrote something on it.
He got angry at it.
Because he thought that she fooled him.
In fact the letter's meaning was a love letter.
He said her "I'm sorry."
She and her father excused his mistake.
They were frank.
And she and he got married.
But this happy time wasn't eternity.
He said them "I'd like to travel to make good OUGI"
They were at a loss for an answer.
But he set out on a journey.
They waited for him to come back to home.
But he didn't come back for a long time.
People thought that he ran away to her.
At length she gave up and thought he died.
She had gotten married to other man.
But he wasn't dying.
So, he came back.
He surprised and got angry at it.
He killed her and lots of people.

He ran away to MATUSAKA.

A few days later, the rumor that an AME shop was haunted.

The ghost was the OUGI shop's woman.



She had bought AME every evening.

But her used money will be a leaf in the morning.

The AME shop clerk wondered.

He chased her.

She went to a grave and disappeared there.

He dug a grave.

And he found a baby.

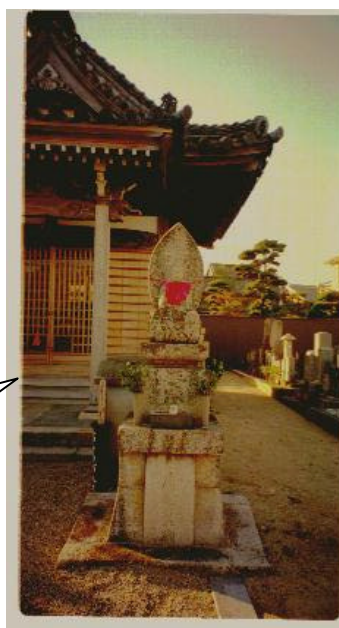
He very very surprised.

She brings up the baby by AME.

Now, OUGI shop isn't MATUSAKA.

But if you can go to RAIKOUGI, you can see OUGIYA KITIBEI ' s grave .

This is an OUGI.



KITIBEI ' s
grave

生徒の感想

来迎寺についての英語 Version を作った事について

- ・ 時間がほとんどなかった。土日に全てをかけて製作しようとしたが、結局、昨日12時ごろまでパソコン画面とにらみあっていた。写真がうまく入らない。はりつけると横の文字まで改行される。一回うまく文の横に入ったのに、動かしたら戻ってしまった。フロッピーに入れようと思ったら1枚で入りきらなくてあわてた。結局MOに入れた。今、直す箇所があったことに気づいた。正門「せいもん」を「しょうもん」とのせてある。よっぽど眠かったのだろうか・・・

来迎寺は2回も行ったのに、“ごじゅうしょく”がいなくて、くわしい話はきけなかった。地域紹介に英語でのせる可能性もある・・・と奥さんらしき女性に言ったら笑っていた。

- ・ 今回私は、友人と協同で松阪に伝わる民話の中の1つ《墓穴で生まれた児》という話を調べました。

この話にでてくる「扇屋吉兵衛」の無縁墓碑が、ここ松阪の白粉町にあると知り、実際に見てみようということになり、土曜日の体験入学が終わってから「来迎寺」に行きました。「来迎寺」の関係者の人は、親切に私たちにいろいろと教えてくれました。

そして次の日、連日で「来迎寺」に行き、前の日とれなかった写真を撮りました。国や市などの重要文化財というだけあって、とても立派でした。

私は、英文を半分ほど手伝い、日本語をいろいろアレンジして全文書きました。英文もけっこう大変だったけど、日本語を全文ともなるとさすがにきつかったです。

その敷地内にあるものを地図をつけてあらわしたりもしました。そのせいで、紙が3枚にもわたってしまいました。

まあいろいろあったが、松阪の事をもっと知ることができてよかったです。

- ・ 私は御城番屋敷へ行きました。地元なのに行ったのは小学生のとき以来だったし、印象もあんまりなかったので、何故か新鮮な体験でした。小学生のときに行った時も、ざっと見ただけだったので、今回御城番屋敷の説明書きとかみて、初めてしたことたくさんありました。日本人でもよく知らない事を英語で説明するのは大変でしたが、楽しかったです。

4 . 成果と課題

この地域紹介を完成させるにあたって、生徒たちは図書室を活用したり、また、地域の人々に聞き取り調



査を行った。そのような活動を通して、自分たちの地域について学習を深めることができた。また、今まで知っていても日頃見過ごしているものについて、より深い知識を得ることができた。この活動を通して、地域を再認識することができた。

書籍や説明書きに書かれている日本語を英語に翻訳するにあたっては、多くの生徒が非常に苦労した。しかし、辞書や ALT の協力を得て、それを英語で表現することができるようになった。

この地域紹介をホームページに載せ、今後は掲示板などを活用して、アークミドルスクールの生徒とお互いの地域について交流していきたい。

6. インターネットを活用するシステムの確立

1) システムの必要性と確立

インターネットを利用する教育を確立していくためには、そのためのシステムを構築していくことが非常に大切である。そのシステムとは、「地域単位のシステム」、「学校単位のシステム」とに分けることができる。

「地域単位のシステム」

地域内のインターネット・イントラネットのデザインを構築

- ・専用サーバーの設置
- ・回線の高速化
- ・LAN システムの構築
- ・メディアセンターの構築

* インターネット・イントラネット・コンピューターの管理・運営

- ・インターネットの管理
- ・イントラネットの管理
- ・各教育機関のコンピューターの増設
- ・各教育機関のコンピューターのメンテナンス

* 研修体制の確立

- ・インターネット・イントラネットの研修体制を整備
- ・コンピューターの研修体制の整備
- ・周辺機器の研修体制の整備
- ・アプリケーションの研修体制の整備

- * 周辺機器の整備
- * アプリケーションの整備
- * インターネットを利用した指導案の蓄積と公開
「学校単位のシステム」
- * コンピューターの管理・運営
- * システムのデザインの構築
- * 地域住民のサポーターの確保

2) チームの必要性

コンピューターも、それらによって構築されたシステムも、今だ歴史は浅く、完成されたものとは言い難い。そして、これらの機器を使用していくにあたって多くのトラブル・問題が生じてくる。それらを克服していくためには、個人単位ではなく、専門の知識を持った技術者がチームを組んで対処していく必要がある。「地域単位のシステム」を管理・運営していくためのチーム、「学校単位のシステム」を管理・運営していくためのチームがそれぞれ必要である。

7. おわりに

インターネットを利用して、考えられるいくつかの活動を試みてきた。その中で、教室という枠を超えて、海外と直接交流することによって、生徒たちが生き生きと英語学習に取り組むようになってきた。

これからも生徒たちが海外の人々と交流できる機会を増やすことで、さまざまな価値観を身につけ、広い視野に立てるようにしていきたい。

インターネットはそのような活動をしていく中で、大きな力となっていっくだろう。しかし、まだ始めたばかりなので、今後もインターネットを活用した授業の工夫を続けていきたい。